

京都

Kyoto
Prefectural
Newsletter

きょうと府民だより

2024年
[令和6年]

1
月号



VOL.513

点字版、文字拡大版、音声版を
ご希望の方はご連絡ください。

本紙の内容を府HP
でも公開しています。



令和5年の府政
ダイジェスト

京都府立植物園
開園100周年

クローズアップ京都府

府警あんぜん広場

暮らしガイド
KYOTO Information

— 新春対談 —

さあ、 文化の都 京都へ。



俳優
常盤 貴子さん
×
京都府知事
西脇 隆俊



令和6年
年頭のごあいさつ

京都府知事 西脇 隆俊
京都府議会議長 石田 宗久

題字: 京都府知事 西脇 隆俊

府民の皆さまに開かれた 議会を目指して

京都府議会議長 石田宗久



明けましておめでとうございませう。府民の皆さまにおかれましては、つがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、まず新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更され世の中が少しずつ日常を取り戻しました。長きにわたり感染防止対策にご協力いただいた府民の皆さま、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。そして、明治以来中央省庁で初となる文化庁の京都移転が実現しました。千年にわたる歴史と文化が日々の生活に息づく京都で国と協力して新しい文化政策を創り上げることは、京都のみならず日本全体の地方創生推進に向けての大きな一歩であり、私たちは着実に新たな歴史の扉を開けつつあります。

「進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む」。これは、明治時代に活躍した啓蒙思想家・福沢諭吉の言葉です。目まぐるしく社会が変化を続ける現代において歩みを止めることは、後退するに等しいかもしれません。しかし、時代の変化を柔軟に受け容れながら、受け継がれてきた伝統に常に新しい息吹を吹き込む営みは、これまで京都が脈々と続けてきたことであり、これからも京都が担っていくことです。時には歩みを止めて振り返ることも必要ですが、社会が歴史的な転換点を迎えている中、小さな歩みを積み重ねて大きな前進につなげ、新しい価値を常に生み出し続け、活力にあふれ誇りの持てる京都づくりを進めてまいります。

来年には、いよいよ大阪・関西万博が開幕します。新名神高速道路も全線開通に向け、着実に整備が進められております。私たち京都が得意とする交流の力を発揮して、多くの人、企業、文化の「新しいつながり」を創り、伝統と革新を融合させながら、未来の京都を担う人や企業を育て、文化を創つてまいります。そして「文化の都・京都」を世界に発信しながら、世界の人たちを京都府全域でおもてなししたいと考えております。

今年辰年です。雲を払い、蒼天に向かつて昇っていく龍のように、私たちに託された京都の未来に向けて、京都府総合計画に掲げた一つのプロジェクトを大きく動かしてまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

長らく続いたコロナ禍によりさまざまな制約がありましたが、昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更され、府内各地で大勢の観光客の姿を目にするようになるなど、かつてにぎわいが戻ってきました。また、昨年3月には文化庁が京都に移転し、名実ともに「文化の都・京都」として歩み始め、今年には府立植物園が開園100周年を迎えるなど、京都が日本文化の花開く土壌として、さらに発展していくものと期待しております。

この間、京都府議会では、昨年春の府議会議員選挙により選出された議員が新たなスタートを切り、私も5月に第83代京都府議会議長に就任したところであります。以降、昨年夏の台風第7号により被災された方の生活支援や災害復旧のための補正予算を迅速に審議・可決するなど、機動的な対応に努めてきました。引き続き、府民の皆さまの期待と信頼に応えるべく、精一杯職務に取り組んでまいります。

私たち府議会議員は、府民の皆さまからの思いや考えをお聞きし、その実現のために府議会として政策提案機能や監視機能の充実、また、府議会を皆さまに知っていただくためのさまざまな取り組みを進めてまいりました。特に、これからの未来を担う若い世代にもっと政治や府議会に関心を持ってもらいたいと考え、議員と直接意見を交換する「出前高校生議会」や「大学生との座談会」を実施しています。

こうした機会を通じて、府民の皆さまにさらに身近に感じていただける議会の実現を目指すとともに、皆さまのご意見をしっかりと施策に反映させることで、お一人おひとりの生活が、より豊かに、希望に満ちたものとなりますよう、今後とも職務に邁進する所存です。

今年の干支は辰です。「龍の水を得る如し」という言葉がありますが、これは龍が水を得て天に昇るように、一層勢いを得ることを表す言葉です。コロナ禍から大きく飛躍した昨年。本年はその勢いが昇り龍のように増し、さらに幸せな一年となりますようお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

活力にあふれ誇りの持てる 京都づくりへ

京都府知事 西脇隆俊



明けましておめでとうございませう。府民の皆さまにおかれましては、つがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、まず新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更され世の中が少しずつ日常を取り戻しました。長きにわたり感染防止対策にご協力いただいた府民の皆さま、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。そして、明治以来中央省庁で初となる文化庁の京都移転が実現しました。千年にわたる歴史と文化が日々の生活に息づく京都で国と協力して新しい文化政策を創り上げることは、京都のみならず日本全体の地方創生推進に向けての大きな一歩であり、私たちは着実に新たな歴史の扉を開けつつあります。

「進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む」。これは、明治時代に活躍した啓蒙思想家・福沢諭吉の言葉です。目まぐるしく社会が変化を続ける現代において歩みを止めることは、後退するに等しいかもしれません。しかし、時代の変化を柔軟に受け容れながら、受け継がれてきた伝統に常に新しい息吹を吹き込む営みは、これまで京都が脈々と続けてきたことであり、これからも京都が担っていくことです。時には歩みを止めて振り返ることも必要ですが、社会が歴史的な転換点を迎えている中、小さな歩みを積み重ねて大きな前進につなげ、新しい価値を常に生み出し続け、活力にあふれ誇りの持てる京都づくりを進めてまいります。

来年には、いよいよ大阪・関西万博が開幕します。新名神高速道路も全線開通に向け、着実に整備が進められております。私たち京都が得意とする交流の力を発揮して、多くの人、企業、文化の「新しいつながり」を創り、伝統と革新を融合させながら、未来の京都を担う人や企業を育て、文化を創つてまいります。そして「文化の都・京都」を世界に発信しながら、世界の人たちを京都府全域でおもてなししたいと考えております。

今年辰年です。雲を払い、蒼天に向かつて昇っていく龍のように、私たちに託された京都の未来に向けて、京都府総合計画に掲げた一つのプロジェクトを大きく動かしてまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

長らく続いたコロナ禍によりさまざまな制約がありましたが、昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更され、府内各地で大勢の観光客の姿を目にするようになるなど、かつてにぎわいが戻ってきました。また、昨年3月には文化庁が京都に移転し、名実ともに「文化の都・京都」として歩み始め、今年には府立植物園が開園100周年を迎えるなど、京都が日本文化の花開く土壌として、さらに発展していくものと期待しております。

この間、京都府議会では、昨年春の府議会議員選挙により選出された議員が新たなスタートを切り、私も5月に第83代京都府議会議長に就任したところであります。以降、昨年夏の台風第7号により被災された方の生活支援や災害復旧のための補正予算を迅速に審議・可決するなど、機動的な対応に努めてきました。引き続き、府民の皆さまの期待と信頼に応えるべく、精一杯職務に取り組んでまいります。

私たち府議会議員は、府民の皆さまからの思いや考えをお聞きし、その実現のために府議会として政策提案機能や監視機能の充実、また、府議会を皆さまに知っていただくためのさまざまな取り組みを進めてまいりました。特に、これからの未来を担う若い世代にもっと政治や府議会に関心を持ってもらいたいと考え、議員と直接意見を交換する「出前高校生議会」や「大学生との座談会」を実施しています。

こうした機会を通じて、府民の皆さまにさらに身近に感じていただける議会の実現を目指すとともに、皆さまのご意見をしっかりと施策に反映させることで、お一人おひとりの生活が、より豊かに、希望に満ちたものとなりますよう、今後とも職務に邁進する所存です。

今年の干支は辰です。「龍の水を得る如し」という言葉がありますが、これは龍が水を得て天に昇るように、一層勢いを得ることを表す言葉です。コロナ禍から大きく飛躍した昨年。本年はその勢いが昇り龍のように増し、さらに幸せな一年となりますようお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

令和5年の

府政

ダイジェスト

府内産木材の利用への気運醸成に向け「未来につなぐ京の木府民会議」設置記念フォーラムを開催(28日)

1月

新しい京都府総合計画がスタート(1日)

きょうと生物多様性センターを開設(1日)

親子健康手帳「きょうとすくすくブック」を配布開始(1日)

「JET New Japan Summit 2023 Kyoto」を開催(3日)

京都府海洋調査船「平安丸」竣工式典開催(18日)

JR奈良線高速化・複線化第一期事業が開業(18日)

2月

京都縦貫自動車道がNEXCO西日本に移管(1日)

子どもの教育のための総合交付金を創設(1日)

北部地域教員確保のための奨学金支援制度を創設

文化庁が京都での業務を開始(27日)

3月

府立植物園「きのこ文庫」でビル・ゲイツ氏からのメッセージカード付き寄贈書籍を発見

京都府危機管理センター(仮称)整備工事に着手

都市計画道路「宇治田原山手線」が開通(18日)

京都府開庁記念日

記念式典を開催(19日)

「TVS 2023 KYOTO」を開催(28日~30日)

4月

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更(8日)

万博に向けたオール京都の推進体制を構築(29日)

「未来京都・人づくり懇話会」を設置(31日)

1人1台タブレットを活用した新しい京都府学力学習状況調査「学びのパスポート」を本格実施

府庁旧本館カフェ「Salonde 1904」がオープン(26日)

5月

子ども議会を開催(10日)

台風第7号被害を受け市町村などと連携し復旧支援を実施

京都子育て支援医療助成制度を拡充

京都府総合防災訓練を実施(3日)

「京都府観光総合戦略」を改定(28日)

「京都インターナショナルスタートアップセンター」を開設(31日)

6月

食品シェアリング事業者登録制度を創設し取り組みを推進(7日)

文化庁京都移転記念事業「Opening Celebration」を開催(8日、9日)

「きょうハレの日」を開催(8日、9日)

京都府立大学 文化庁連携室を開設(26日)

「府民交流フェスタ」を開催(3日)

京都版市町村連携型ふるさと納税の募集を開始(2日)

7月

「子育て環境日本一推進戦略」を改定(1日)

丹後地域に「児童家庭支援センター」を開設し、こども見守り体制を強化(1日)

「京都フードテックエキスポ」を初開催(5日、6日)

「アート&テクノロジ」を開設(31日)

8月

第14回「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式／京都環境文化学術フォーラム国際シンポジウムを開催(18日)

「京都府観光総合戦略」を改定(28日)

「京都インターナショナルスタートアップセンター」を開設(31日)

9月

「子育て環境日本一推進戦略」を改定(1日)

丹後地域に「児童家庭支援センター」を開設し、こども見守り体制を強化(1日)

「京都フードテックエキスポ」を初開催(5日、6日)

「アート&テクノロジ」を開設(31日)

10月

「子育て環境日本一推進戦略」を改定(1日)

丹後地域に「児童家庭支援センター」を開設し、こども見守り体制を強化(1日)

「子育て環境日本一推進戦略」を改定(1日)

丹後地域に「児童家庭支援センター」を開設し、こども見守り体制を強化(1日)

11月

「子育て環境日本一推進戦略」を改定(1日)

丹後地域に「児童家庭支援センター」を開設し、こども見守り体制を強化(1日)

「子育て環境日本一推進戦略」を改定(1日)

丹後地域に「児童家庭支援センター」を開設し、こども見守り体制を強化(1日)

12月

「子育て環境日本一推進戦略」を改定(1日)

丹後地域に「児童家庭支援センター」を開設し、こども見守り体制を強化(1日)

「子育て環境日本一推進戦略」を改定(1日)

丹後地域に「児童家庭支援センター」を開設し、こども見守り体制を強化(1日)

12月

「子育て環境日本一推進戦略」を改定(1日)

丹後地域に「児童家庭支援センター」を開設し、こども見守り体制を強化(1日)

俳優

常盤 貴子さん

俳優 常盤 貴子さん

神奈川県横浜市生まれ。1993年に俳優デビュー。95年にドラマ「愛していると言ってくれ」でブレイクし、2000年「ビューティフルライフ」で最高視聴率41.3%を記録。04年には映画「赤い月」で第28回日本アカデミー賞優秀主演女優賞を受賞するなど映画、舞台、CM、ドラマ、ナレーションなど多岐にわたって活躍。21年からはテレビ番組「京都画報」に出演し、京都の魅力を発信している。23年、京都府文化観光大使に就任。

さあ、文化の都へ。

昨年、京都府文化観光大使に就任され、自他共に認める「京通」として知られる常盤貴子さんをゲストにお招きし、京都の暮らしに息づく文化やその魅力、日本文化の発信拠点としての在り方を展望します。

京都府知事

西脇 隆俊



千年の都・京都に根付く文化

西脇 まずは京都府文化観光大使をお引き受けいただき、ありがとうございます。以前から、京都が大変好きだったそうです。常盤 初めは和菓子や小物のような「かわいい」ものに惹かれたのがきっかけだったのですが、歳を重ねるにつれて、歴史的背景にも興味を持つようになりました。面白いと思っただけで自分で調べたり、地元の方に聞いたりして、知れば知るほど新しい魅力に出合えるのが京都の良いところですね。



南丹市美山町内では、築100年を超えるかやぶき民家を一棟貸しの宿泊施設として活用している例も

西脇 千年を超える文化の蓄積が、今も生活の中に息づいていますからね。今日お話しになっている着物も、その一つといえます。常盤さんは京都の魅力を掘り下げる番組でナビゲーター役をされていて、毎回、着物で各地を訪ねておられますね。
常盤 出演が決まったとき、自分から「着物を着たい」とお願いしたんです。やっぱり京都は着物が似合うので、視聴者にも「着物を着て京都を歩きたい」と思ってもらえたらいいなと。
西脇 コロナ禍で生活様式が急変し、各地の風景や人々と直接触れ合う機会は減ってしまいました。だからこそ常盤さんが発信される日本の文化に対する憧れや、大切にしたいという思いも深まったのではないのでしょうか。

「もうひとつの京都」の奥深さに触れる

常盤 私自身、実際に袖を通すことで改めて知った着物の良さがたくさんありました。その点、京都ではお家にお伺いすると、例えば床の間飾りなどにも気を配っていらつしやることに感動します。生活が便利に変化する中でも、そこに根付く文化をきちんと意識されているというか。
西脇 生活文化というところでは、茶道や華道などもそうですね。着物をはじめとする伝統産業に加え、こうした有形無形の文化も守り継いでいきたいと思っています。

西脇 京都は文化財が数多く残るかつて都であったエリアだけでなく、府域にも素晴らしい場所がたくさんあります。その「もうひとつの京都」の中で常盤さんがお好きな場所や、行ってみたい場所がありますか。
常盤 歴史的な建造物が好きなので、伊根の舟屋に番組で訪れたときは本当に楽しかったです。海に面して家が建ち並んでいて、舟のガレージがあつて、こんな建築の仕方があるんだと驚きました。
西脇 舟屋が建ち並ぶ風景を海から眺められる遊覧船も人気がありますよ。個人的には夏の風物詩「伊根花火」もぜひ一度ご覧いただきたいですね。他のエリアはいかがですか。

常盤 気になっているのは美山です。まだ行ったことがなくて。
西脇 美山はかやぶきの里が有名ですが、今はそうした築100年を超える古民家に一棟貸しで泊まれる宿もあるんですよ。常盤 すてきですね。宿泊してこそ見える、その地の良さがありますものね。あと宇治にも行ってみたいです。
西脇 外国人観光客の中には「一日ゆつくり巡るなら宇治」と言う方もいらつしやるくらい、たくさんの方が見どころがあるんですよ。実は宇治だけでなく、府南部の山城エリアは国宝の宝庫。八幡市の石清水八幡宮や木津川市の浄瑠璃寺など素晴らしい文化財がたくさんあります。
常盤 わあ、まだ知らない魅力がいっぱいですね。「今回はこういうテーマにしよう」と決めて旅するのが好きなので、これから府内をいろいろ巡って、「もうひとつの京都」を深めていきたいと思っています。



伊根町伊根浦には、約230棟の舟屋が海岸沿いに建ち並ぶという趣ある景観が現在も残されている



平等院や宇治上神社といった世界遺産、宇治茶、源氏物語ミュージアムなど、見どころ盛りだくさんの宇治

京都が誇る 一番の文化は「人の志」



文化は人の中に蓄積されるもの

西脇 昨年、文化庁が京都に移転し、京都は名実ともに「文化の都」として歩み始めました。ここまでお話ししてきたように、「文化」といっても非常に幅広いわけですが、常盤さんはどんなイメージをお持ちですか。

常盤 京都に来ていつも思うのは、この町を形づくっているのは、人の志なんだな、ということなんです。京都の方は文化を日々身近に感じながら、それを守っていらっ

こういうところでも、京都の柔軟さとおらかさを感じます。「歴史ある建物をイベントに使うなんて」という声が上がってもおかしくないのに。

西脇 例えば京都の産業をけん引する企業の中には、仏具や焼き物、染めなどの伝統産業をルーツに持つ所も多いんです。伝統の中から革新的な文化を生み出してきた、という意味では、今も昔も本質的には同じなのかもしれません。



昨年3月、美術展とアートフェアの境を取り払った新しいアートイベント「ARTISTS' FAIR KYOTO 2023」を東本願寺渉成園などで開催

撮影：顧 剣亨

しゃいますよね。その矜持と、文化を未来につないでいこうという心意気を持って暮らしておられるように、私には感じられ



常盤 歴史をさかのぼれば、「それはない」と批判されながらも、いつの間にか文化として定着したものもたくさんあるんですね。私も何か革新的なものに出会うたび、「これはどうなんだろう」と考えますが、同時に、今の私には理解できないだけで、千年後の人にとっては当たり前になっているかもしれない、とも思うんです。今の私たちにできることを精いっぱいやって、未来へとつないでいく。それが大切で、そここそが今を生きている意味なのではないでしょうか。

文化の都・京都の実現に向けて

西脇 昨年、「京都府観光総合戦略」を改定し、「交流」と「持続性」を2つの視点として定めました。観光客と地域の方々との

るんです。そんな人々の思いこそ、京都が誇る一番の文化なのではないかと思っています。

西脇 ええ。それを如実に物語る例が「古都京都の文化財」といえますね。現在、鹿苑寺（金閣寺）をはじめ、17の神社仏閣などがユネスコの世界文化遺産に登録されていますが、これらの多くは経年劣化や災害などの影響で補修や再建が行われ、実は創建時のまま残っていないものもあるんです。それでも登録に至った要因の一つは、たとえ焼失しても元通りに造れる技術や素材が、千年の時を超えて受け継がれてきたことにあります。そうして伝統をつないできたのは、まさに人々の思いなんです。建築や工芸品など、目に見えるものとして残る歴史的価値はもちろん重要ですが、文化の本質は「心」だと私も思います。

常盤 本当にそうですね。以前、伊根町にお伺いした際も、皆さん「観光するだけでは分からない本質を見てほしい」と話されていました。それも、場所だけではなく、そこに住み文化をつないできた人を感じてほしいという意味だったのではないかと思います。

伝統と革新の地、京都

西脇 昨年2月には、「苔寺」の名で知られる西芳寺で、スタートアップ企業の支援プログラム「イノベーターズ・パス」の発足

交流を深化することで地域を活性化し、「持続性の高い観光」を実現していきたいと思っています。京都を愛するファンの一人として、文化観光大使としての常盤さんの思いをお聞かせいただけますか。

常盤 世界中を見渡しても、京都のように世界中の方が憧れる街は限られると思います。それは京都の個性が今も大切に守られているから。生活に根付いた文化を維持していくことの大切さ・難しさを知って、次世代に託そうと努力している人たちがいるからだと思います。京都が好きなのはもちろん、今は興味を持っていない人たちも一緒に京都の文化を知り、守っていくこと



昨年10月にオープンした「アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都」(ATVK)。新たな産業創造のために府内各地で整備を進めている産業創造リーディングゾーンの一つ。世界に類を見ないオープンイノベーション拠点となることを目指す

式、記者会見を開きました。また、10月には大山崎町に「アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都」(ATVK)をオープンしました。アートとテクノロジーの融合という考え方が世界の産業の主流になる中、京都独自の文化力・芸術力を活かした新しい産業が生まれることを期待しています。

常盤 昨年3月には京都文化博物館や東本願寺渉成園などを会場に「ARTISTS' FAIR KYOTO」も開催され、現代アート作品が展示・販売されていましたね。

で、日本ならではの文化を再認識できるようにするのはないかと思っています。まずは私自身が実際に本物を見て、触れて、文化に対する知識を広げていきたいですね。

西脇 来年には「大阪・関西万博」が控えています。京都の文化を国内外に発信し交流を促進するこのチャンスを最大限に活かし、文化の都・京都としての歩みを進めてまいります。

常盤 大好きな京都が盛り上がるように、私もどんな魅力を発信していきたいかと思っています！

歴史ある京都を、日本の文化の発信地にしたい





絵本など子ども向け図書
約2,400冊を収蔵する「きのこ文庫」

日本初 の公立植物園

大正天皇即位記念の「大典記念
京都大博覧会」開催予定地とな
るも諸事情により開催が見送ら
れ、代替案となったのが「大典記
念京都植物園」の設置でした。



初代・観覧温室があった
昭和初期頃の植物園



砂漠で1000年生きる希少植物
キソウテンガイ(観覧温室)



『星の王子さま』に登場する
巨木・ハオバブの花(観覧温室)

トップレベル 1万2,000種類の植物

24万㎡の広大な敷地に、テーマ
別に約1万2,000種類、約12万本
の植物を栽培。中には絶滅危惧
種などの珍しい植物もあります。



絶滅危惧種フジバカマの蜜を吸う蝶
アサギマダラ(植物生態園)



日本の平地では栽培困難! ヒマラヤ
の青いケシ メコノプシス(観覧温室)

日本最大級 の観覧温室

国内初展示、初開花の植物も多
く、キソウテンガイやハオバブな
ど世界の熱帯植物が身近に観賞
でき、規模・植栽植物の種類共に
日本最大級です。



正門横のヒマラヤスギも
樹齢100年超

樹齢100年超 の木々に出会える!

川端康成の小説『古都』に登場す
るくすのき並木、大きなヒマラヤ
スギなど、開園当初から植物園を
見守ってきた木々があちこちに。



戦後、接収していた連合軍より
返還されて1961年に再開園

年間来場者数 80万人超

国内の公立植物園ではトップ
クラスの来場者数を誇ります。



2023年11月・日本初開花!
アリストロキア・ゴルデアナ(観覧温室)



祝 京都府立植物園 開園100周年

京都府立植物園は、1924年(大正13年)1月1日の開園から100年を迎えました。開園当初から広大な園内では春は180品種もの桜、夏は樹齢100年超のくすのき並木、秋は約1,000本の木々が色鮮やかな紅葉など、四季折々の美しい植物を圧倒的なスケールで楽しめます。また、熱帯から高山植物までそろそろ日本最大級の観覧温室や、春や秋に約320品種が花を咲かせるばら園など、多彩なエリアで植物を身近に観賞できるのも植物園の魅力です。100年の時を積み重ねながらますます成長を続ける京都府立植物園に、これからもご期待ください。



白いレース状の園網が特徴のキヌガサタケ(竹笹園)



色彩の変化が美しい
'アンネのパラ'(ばら園)



ダース・ベイダーのような花が咲くアリストロキア・サルバドレンシス(観覧温室)



観覧温室の天井まで届くバナナの木



since 1924

建設当時の植物園の様子。元は半木神社とその鎮守の森を擁する田園地帯で、現在も園内にたずむ同神社とその周辺に残る「なからぎの森」に往時の姿をしのぶことができます。

府立植物園100周年オープニングイベント

1月5日(金)～8日(月・祝) 9時～17時 詳細は100周年特設HPへ

入園料・観覧温室入室料 無料 無料の4日間!!

記念すべき100周年のスタートを、特別なお花やお正月をテーマにしたさまざまな取り組みで盛り上げます。

開園100周年記念オープニングセレモニー
1月6日(土) 9時10分～ 所 観覧温室内特別展示室
世界遺産シンガポール植物園とのコラボ! セレモニー後に観覧温室内ラン室リニューアルオープン ご覧いただけます

期間中のイベント(一例)
● 辰年をテーマにした植物スタンプラリー
● ヒマラヤスギに植物園での思い出をつるそう

ジャンボ門松の展示も

これからも府民の皆さまに愛される植物園を目指して

府立植物園が100年の節目を迎えるに当たり、支え続けていただいた皆さまに心から感謝申し上げます。これまでの技術や経験を活かした植物の収集、保存、栽培、研究を通じて生物多様性保全に貢献するとともに、府民の皆さまが植物との触れ合いの中で癒やしを感じ、自然を楽しく学べる場所であり続けるよう、この植物園を大切に守り育ててまいります。

京都府知事 西脇 隆俊

現場訪問 京野菜に関わる方々や地域×学生でまちの活性化に取り組む方々と府内各地で「行き活きトーク」

西脇知事が府内の皆さんと語り合い、頂いたご意見を府政に活かす「行き活きトーク」。10月30日には、京野菜に関わる皆さんと京野菜の魅力や消費拡大に向けた課題について意見交換を行いました。また、11月3日には、連携して地域課題の解決に取り組む地域住民や学生の皆さんと、地域活性化に向けた取り組みなどについて語り合いました。



行き活きトーク 京野菜の魅力と消費拡大に向けての課題について(京都市)

参加者の声

- 生産者としては、野菜本来の味を引き出すため、「土づくり」を大切にしている。京野菜の生産者自らが行う人材育成も重要。
- オーナーシェフの立場から、おいしくてストーリー性のある京野菜の魅力を発信していきたい。
- 食生活の変化に応じて京野菜も進化してきた。自身の料理研究家としての活動を通じて京野菜を広めていきたい。
- 流通に関わる立場として考える一番の課題は「生産面積の減少」。生産拡大と消費拡大の両軸で進めていく必要がある。
- 大学生の視点から京野菜の魅力を広めている。収穫体験など、子どもたちが京野菜に触れる環境づくりに取り組んでほしい。



料理研究家の小宮実さん監修のもと「旬の京野菜でお手軽レシピに挑戦」動画の撮影も行いました



動画はこちら



トークを終えて...

京野菜に関わる方々の努力と研究によって、京野菜ブランドが確立されていることを実感しました。今後も持続的な消費拡大に向け、京都の食文化を全国に発信していきます。



行き活きトーク 地域×学生による地域活性化について(久御山町)



左から住民グループ「KUMIDAN」の皆さん、西脇知事、京都文教大学の学生団体「KminK」の皆さん

参加者の声

- 学生は地域活性化に“なくてはならない存在”。行政には、学生、地域住民の挑戦を後押ししてほしい。
- 地域のお祭りやイベントを通じて、学生たちがまた帰ってこようと思ってくれるような機会をつくってほしい。
- 地域の方々と関わることで自身の学びにつながっている。こうした経験が学生の京都定着につながるのでは。
- 地域振興に携わる父の影響でこの活動に参加。地域の声を聞き、解決のプロセスに参加する体験は深い学びになっている。
- 今後は子どもの居場所づくりに取り組み、久御山町で新たなつながりを作っていきたい。



地域交流イベント「くみやま まちのがっこう」の参加者と交流する西脇知事

トークを終えて...

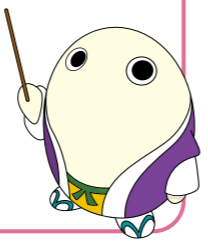
学生×地域の取り組みが、地域の活性化につながっていることを体感できました。引き続き交流と連携による活力ある京都の実現に向けて取り組んでまいります。



予算

令和5年度12月補正予算を編成

長期化する物価高騰の影響を特に受けている業種への支援や人手不足対策など、当面必要な施策を実施するため、補正予算を編成しました。



◆ 原材料の高騰等で厳しい状況にある和装産業の需要を喚起 2億5,000万円

◆ 物価高騰等の影響を受ける地域公共交通を支援 2億2,000万円

◆ 人手不足に対応するために事業者が実施する生産性向上に向けた取組を支援 3億1,000万円

◆ 府内観光が開散期である1月の宿泊需要等を喚起 5億6,000万円

◆ 農林水産業者の物価高騰の影響を受けにくい経営体質の確立を支援 5億円

◆ 北部地域の看護師確保のための教育拠点として高度医療にも対応する看護学校を整備 37億円(債務負担)

◆ 府立看護学校の学生寮および学舎を整備
 ● 1学年あたりの定員数を20名拡充
 (現在40名→整備後60名) など



▲詳細はこちら

問 財政課 TEL 075-414-4411 FAX 075-441-7308

トピック

公共交通機関を使って府域を巡る「京都名所周遊交通スタンプラリー」を開催

府と府観光連盟では、公共交通機関を利用した観光周遊イベント「京都名所周遊交通スタンプラリー」を開催しています。「もうひとつの京都」や「とっておきの京都」エリアの観光施設と公共交通機関計74カ所にデジタルスタンプポイントを設置。位置情報活用イベントアプリ「こころ」を使ってスタンプポイントを集めた方に、抽選

11月31日(水)

所海の京都、森の京都、お茶の京都、竹の里・乙訓、とっておきの京都エリアの観光施設など52カ所、公共交通機関22カ所



とっておきの京都



お茶の京都



海の京都



森の京都



竹の里・乙訓

問 観光室 TEL 075-414-4843 FAX 075-414-4870

問 広報課 TEL 075-414-4071 FAX 075-414-4075

令和6年1月

府警 第186号 あんぜん広場

京都府警察
スローガン

千年を守る 未来を創る



府警公式
ホームページ



府警公式
Facebook



府警公式
Instagram



府警公式
YouTube



府民の皆さま 明けましておめでとうございます



旧年中は、警察業務の各般にわたり、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。京都府警察では、本年、総力を挙げて取り組むべき業務方針として「京都平安策2024」を策定いたしました。特殊詐欺などの悪質な犯罪の徹底検挙をはじめ、交通事故防止対策など、府民の安全・安心を脅かすさまざまな重要課題に敢然と立ち向かい、府民の皆さまに「安全・安心なまち京都」をより一層実感いただけるよう、各種取り組みを積極的に進めてまいります。本年も引き続き、警察に対するご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

この一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

京都府警察本部長 白井利明

京都平安策2024

基本姿勢

力強く頼りがいのある警察

推進重点

- 1 子供、女性、高齢者等の安全確保と犯罪被害者支援の推進
- 2 犯罪から府民を守るための取組の推進
- 3 安全で快適な交通社会の実現
- 4 サイバー空間における対処能力の強化
- 5 重要凶悪事件の徹底検挙と組織犯罪の摘発強化
- 6 緊急事態等への的確な対処
- 7 社会情勢の変化に対応するための組織づくり

府警INFORMATION

令和6年 京都府警察年頭視閲式

警察官の士気を高揚し、府内の治安維持を誓う行事です。周辺の交通規制にご協力ください。

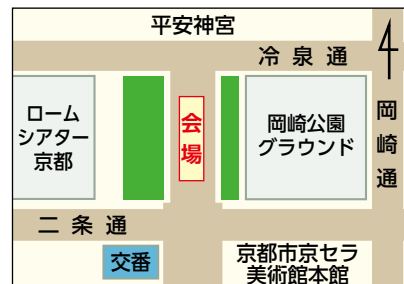
1月20日(土) 10時～11時30分

所 岡崎公園(平安神宮前/左京区)

内 第一部 分列行進

第二部 アトラクション

第三部 車両展示



府立農業大学校 令和6年度学生募集(後期試験)

小論文試験、学科試験、面接試験。

詳細はWebへ。



- 📅 2月16日(金)9時20分～
- 📄 料 入学学査料2,200円
- 📄 受 願書などを同校へ郵送・持参(1月19日～31日消印有効) 問所 同校
- 📍 623-0221 綾部市位田町松前30
- ☎ 0773-48-0321 📠 0773-48-0322

「海の民学舎」第10期生募集(第2回選考試験)

書類選考、面接試験。2年間の研修で漁業に就業するために必要な技術や知識、資格が身に付きます。詳細はWebへ。



- 📅 2月16日(金)8時30分～17時15分 所 丹後広域振興局宮津庁舎
- 📄 定 若干名 対 おおむね40歳未満で研修後、府内に定住して漁業に従事される方 受 応募書類を郵送・持参(～2月2日消印有効)
- 📍 府水産事務所「海の民学舎」 📞 626-0052 宮津市字小田宿野1029-3
- ☎ 0772-25-3030 📠 0772-22-3289

京都ジョブ博「綾部・福知山合同企業説明会 in 京都」

綾部・福知山の企業約40社が出席する対面・オンラインのハイブリッド形式による合同企業説明会です。



- 📅 1月13日(土)12時30分～15時
- 📍 所 京都経済センター(下京区)
- 📄 対 令和7年3月以降卒業予定の大学院生、大学生、短期大学生、専門学校生とその保護者
- 📄 受 オンライン参加のみTELにて申し込み
- 📍 問 京都ジョブパーク
- ☎ 0773-22-3815 📠 0773-22-3816



キャリアデザインセミナー

仕事と家庭の両立などこれからのキャリアを主体的に考えていくためのセミナーを開催します。



- 📅 1月13日(土)13時30分～16時30分
- 📍 所 京都経済センター(下京区) 定 50人
- 📄 対 今後のキャリアを考えたい方 受 Web(～1月12日)
- 📍 問 京都府生涯現役クリエイティブセンター ☎ 075-741-8600

京都ジョブ博「長田野工業団地・アネックス京都三和立地企業合同面接会」

長田野工業団地・アネックス京都三和に立地する企業が出展する対面・オンラインのハイブリッド形式による合同企業面接会です。



- 📅 1月26日(金)13時30分～15時30分 所 福知山市企業交流プラザ
- 📄 対 一般求職者、UIJターン希望者、令和6年3月および令和7年3月以降卒業予定の大学院、大学、短大、専門学校生および既卒者など 受 オンライン参加のみTELにて申し込み
- 📍 問 京都ジョブパーク ☎ 0773-22-3815 📠 0773-22-3816

マザーズジョブカフェ「仕事で使いこなそう! Chat GPT 入門講座」

仕事に活かせる「Chat GPT」について学びます。(協力:京都府テレワーク推進センター) **先着順**



- 📅 2月9日(金)①10時～12時②13時30分～15時30分
- ※①②いずれかを選択 所 京都テルサ(南区) 定 各20人
- 📄 対 働きたい女性 受 TEL・Web(要予約)
- 📄 保 あり(対象:生後6カ月～就学前のお子さま、定員あり・要予約) 問 京都ジョブパーク
- 📍 マザーズジョブカフェ ☎ 075-692-3445



暮らしガイド

KYOTO Information



- 府庁への郵便物は「〒602-8570 京都府〇課(室)」で届きます。
- 休業日については各施設へお問い合わせください。

はたちの献血キャンペーン

少子高齢化などにより献血できる方が減少しています。新成人の皆さんも、この機会に献血へのご協力をお願いします。

募集

府営住宅入居者募集

府営住宅2月募集は郵送または電子申請で受け付けます。詳細はWebへ。



● 京都、乙訓・南丹地域

- 📄 受 Web・郵送(1月30日～2月9日必着)
- 📍 問 府指定管理者(株)東急コミュニティー 府営住宅管理センター
- 📞 600-8108 下京区五条通新町西入ル西鋸屋町18 トミタビル7階
- ☎ 075-354-1090 📠 075-354-1092

● 山城、中丹・丹後地域

- 📄 受 Web・郵送(1月30日～2月9日必着) 問 府住宅供給公社
- 📞 602-8054 上京区出水通油小路東入ル丁字風呂町104-2
- 📍 京都府庁西別館2階 ☎ 075-432-2018 📠 075-432-2049

伏見港公園

子ども・大人向けスポーツ教室 受講生募集

子ども向けにテニス、バスケットボール、体操、また、大人向けにテニス、卓球、ヨガ、ZUMBA、フラダンスなど、さまざまな種目がラインアップ。初参加も大歓迎。詳細はWebへ。



- 📄 定 料 種目により異なる
- 📄 受 来園(～2月29日20時、先着順)
- 📍 問 同公園
- ☎ 075-611-7081



試験・就職支援

京都高等技術専門学校

令和6年度 4月入校生二次募集(選考試験)

学科試験、面接試験。詳細はWebへ。



- 📅 2月3日(土) 定 各5～10人程度 料 入校選考料2,200円(プロダクトマネジメント科は無料)
- 📄 受 願書などを簡易書留で郵送(～1月26日必着)、持参不可
- 📍 問所 同校 📞 612-8416 伏見区竹田流池町121-3
- ☎ 075-642-4451 📠 075-642-4452

陶工高等技術専門学校(京都陶芸大学校)

令和6年度 4月入校生二次募集(選考試験)

学科試験、実技試験、面接試験。詳細はWebへ。



- 📅 2月3日(土) 定 各5～10人程度 料 入校選考料2,200円 受 願書などを持参・簡易書留で郵送(～1月26日必着)
- 📍 問所 同校 📞 605-0924 東山区今熊野阿弥陀ヶ峰町17-2
- ☎ 075-561-2943 📠 075-561-3429

ペットの災害対策講座

災害時の備えとして飼い主が日頃からできることについて考えます。

無料

- 1月20日(土)10時～11時30分 **定**30人(多数抽選)
- 受TEL・☎(～1月12日) **問所** 京都動物愛護センター(南区)
- 075-671-0336 **✉** kateidoubutsu@city.kyoto.lg.jp

Kyoto Art for Tomorrow 2024 —京都府新鋭選抜展—

京都を拠点とする新進気鋭の若手作家41人の新作展示発表のほか、昨年度の最優秀賞受賞者山本真澄氏の作品を特別展示。

- 1月20日(土)～2月4日(日)10時～18時(金曜は19時30分まで)※入場は30分前まで
- 料一般500円ほか **問所** 京都文化博物館(中京区) **TEL**075-222-0888 **FAX**075-222-0889



大切な人の薬物問題で悩んでいる方の家族教室

家族の薬物問題に悩む方が集い、想いを分かち合います。秘密は守られます。 **無料**

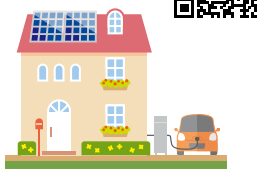
- 1月23日(火)13時30分～15時30分 **定**10人 **対** 家族などの薬物問題で悩んでいる方(京都市以外の府内在住の方)
- 受TEL・FAX(～1月16日)※事前面接あり
- **問所** 府精神保健福祉総合センター(伏見区)
- 075-641-1810 **FAX**075-641-1819



省エネ住宅体験会

京都地球環境の日(2月16日)に合わせ、省エネ住宅の体験会を開催します。詳細はWebへ。 **無料**

- 2月1日(木)～29日(木) **所** 府内各所
- 受TEL・☎(～2月27日)
- **問** 脱炭素社会推進課
- 075-414-4708 **FAX**075-414-4705
- **✉** datsutanso@pref.kyoto.lg.jp



京都環境フェスティバル2024

「集まれ! 未来の環境リーダー!」をテーマに環境について楽しく学べるセミナーやワークショップなどを開催します。詳細はWebへ。 **無料**

- 2月3日(土)9時45分～16時
- **所** 京都パルスプラザ(伏見区)
- **問** 同実行委員会(脱炭素社会推進課内)
- 075-414-4708
- **FAX**075-414-4705



雪道では

必ず 冬用タイヤ装着!
タイヤチェーン携行も!



イベント



企画展「若き日のロマン、大正時代の印象さん」

青年時代の堂本印象(1891-1975)が描いた女性像を中心に大正ロマン漂う世界を紹介いたします。

●第4回京都工芸美術作家展

今回より会場を庭園から美術館展示室に移し、より多彩に幅広く、京都の文化芸術を代表する工芸美術を展示します。

- ～2月25日(日)9時30分～17時
- 料510円ほか
- **問所** 府立堂本印象美術館(北区)
- 075-463-0007 **FAX**075-465-3099



堂本印象「丘上の女達」
1912年 京都府立堂本印象美術館蔵



京都府地域プログラム

「遠回りの仕方 —準備編—」

ワークショップやトークイベントを通じて、地域資源を活用したアートプロジェクトの企画を体験してみませんか?

詳細はWebへ。 **無料**

- 1月13日(土)～2月3日(日)
- **所** 舞鶴市内各所
- **問** 中丹広域振興局
- 企画・連携推進課
- 0773-62-2031
- **FAX**0773-63-8495



認知症サポーター養成講座

認知症について正しく学び、認知症の方やその家族をできる範囲で手助けする「認知症サポーター」養成講座。福祉の現場で働く方の声も聞くことができます。 **無料**

- 1月17日(水)14時～16時
- **所** 京都テルサ(南区) **定**60人
- **対** 福祉・障害者支援に興味のある方
- 受TEL・Web(～1月16日)
- **問** 京都ジョブパーク **TEL**075-682-8915



現代写真絵巻「みんなで宇治十帖」

源氏物語の舞台の一つ宇治の魅力を写真を通じて再発見する展覧会。子どもから大人まで約100人が撮影した写真作品を宇治市内各所で展示。冬の宇治での散策へお出掛けください。

無料

- 1月19日(金)～2月18日(日)
- **所** 宇治公園など宇治市内各所
- **問** 文化芸術課
- 075-414-5549
- **FAX**075-414-4223



エフエム京都 (α-STATION)

- Kyoto Smile Message(木)10時45分頃～(「Kyoto Child Smile」内)
- Meets the Kyoto(月)～(金)17時まで

KBS京都ラジオ

- 京都トークRUN(火)12時～(「ま～ぶる! 火曜日 桂二葉と梶原誠のご陽気」に内)
- きょうとほっと情報(月)～(金)各3回/ (土)・(日) 各1回

KBS京都テレビ

- あったか京都! 第4(月)19時30分～特派員の府政レポートや知事とのトークなどを通じて京都府の温もりと驚きを伝えます

脳卒中・心臓病等総合支援センター 公開講座

「脳卒中」と「心臓病」をテーマに京都大学医学部附属病院と京都府立医科大学附属病院の医師やコーディネーターによるシンポジウムなどを開催。詳細はWebへ。



- 2月10日(土)14時~16時 所 オンライン 先着順 無料
- 受Web(~2月7日)、申し込み詳細はWebを確認
- ※Webでの視聴・申し込みができない方のみ京都大学医学部附属病院臨床講堂(左京区)で受講できます
- (定)50人程度 受TEL・FAX・☒(~2月7日)
- 問 京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター
- TEL075-751-3013
- <ウェブ視聴・申し込みできない方のみ>
- TEL075-411-5000 FAX075-411-5001
- ✉411-5000@pref.kyoto.lg.jp(府民総合案内・相談センター)

京都商店街創生フォーラム2024

ゲストトークや、商店街での取り組みなどのプレゼンテーションを開催。無料



- 2月12日(月・休)15時~19時
- 所 京都経済センター(下京区) 定100人
- 対 商店街に興味・関心のある方 受TEL・FAX・☒・Web(~2月6日)※申し込みの詳細はWebへ 問 府民総合案内・相談センター
- TEL075-411-5000 FAX075-411-5001
- ✉411-5000@pref.kyoto.lg.jp



「京のかがやき2024」~新・京都歴史絵巻~

府内各地の地域芸能が南座に集結。光や音、映像など最新のデジタル技術を用いた演出によるエンターテインメント性の高い民族芸能大会を開催。詳細はWebへ。



- 2月24日(土)18時20分~19時30分 所 南座(東山区)
- 定1,082人 料2,500円ほか
- 受 オンラインチケット(~2月18日)
- 問 文化政策室
- TEL075-414-4521
- FAX075-414-4223



ひとり親家庭を励ます知事と新入学児童等のつどい

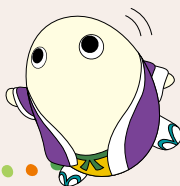
ひとり親家庭の新入学児童を知事が直接お祝いします。無料



- 3月3日(日)10時30分~14時30分
- 所 京都テルサ(南区) 定75組170人
- 対 新入学児童等のいる母子家庭・父子家庭(京都市を除く府内在住)
- 受TEL・Web・郵送(~1月31日消印有効)
- 問 ①(母子)府母子寡婦福祉連合会 TEL075-223-1360 FAX075-950-1503
- ②(父子)府民生児童委員協議会 TEL075-256-7083 FAX075-256-7084
- ①②▶TEL 604-0874 中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375



その他イベントなどの情報はこちら▶



がんプロ府民公開講座

「肺がん」と「大腸がん」における予防と新たな治療法

「肺がん」と「大腸がん」をキーワードに、4人の先生がそれぞれの角度から、がん予防と新たな治療法を解説します。詳細はWebへ。無料



- 2月4日(日)14時~16時30分 所 府立医科大学附属図書館 図書館ホール(上京区) 定200人程度
- 問 同大学 教育支援課 TEL075-251-5227 FAX075-251-5216



きょうと食の安心・安全フォーラム

京都府生菓子協同組合、京丹波みずほファーム、清水農園による食の安心・安全に関する取り組みの紹介と、参加者との意見交換。食品のプレゼント企画もあります。



- 2月9日(金)13時30分~15時30分
- 所 京都学・歴史館(左京区)、オンライン
- 定 会場50人、オンライン100人
- 受 TEL・FAX・☒・Web(~1月31日)
- ※申し込みの詳細はWebへ
- 問 府民総合案内・相談センター
- TEL075-411-5000
- FAX075-411-5001
- ✉411-5000@pref.kyoto.lg.jp



清水農園



北方領土返還要求 第42回京都府民大会

北方領土の日(2月7日)に合わせて返還に向けた機運を醸成するため、元NHK解説委員 山内聡彦氏による講演や作文コンクール表彰式などを開催します。無料

- 2月10日(土)13時~15時30分 所 京都ガーデンパレス(上京区)
- 定150人 問 北方領土返還要求京都府民会議(広報課内)
- TEL075-414-4071 FAX075-414-4075



第4回 SKY ボランティア活動見本市

ボランティア団体が多数出展するマッチングイベント。フリーアナウンサー羽川英樹氏の講演やボランティア団体の体験や発表、成果品の販売など。無料



- 2月10日(土)12時30分~15時30分 所 みやこめっせ(左京区)
- 定 講演着席のみ100人(事前予約制) 受 講演はFAX・☒・郵送(~1月19日必着) 問 (公財)京都SKYセンター TEL 604-0874 中京区烏丸通丸太町下ル ハートピア京都2階
- TEL075-241-0226 FAX075-241-0204
- ✉office@kyoto-sky.com



インフルエンザにも

お気をつけくださいまし~

インフルエンザに関する情報はこちら▶





1月のプレゼント

京都肉 (520g)

正解者の中から抽選で

15人

豊かな自然の中で育て上げた京都肉。赤身でやわらかいモモ肉を、しゃぶしゃぶ用に仕上げました。味わい深い京都肉のうま味をお楽しみください。

賞品に野菜などは含まれません

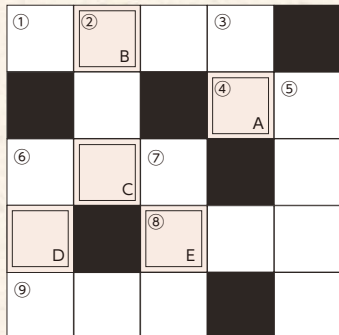
クロスワードクイズを解き、
答えを完成させてください

【ヨコのカギ】

- ① 京都府の月刊広報紙のタイトルは「〇〇〇〇府民だより」
- ④ 春・夏・秋・冬の4つの季節の総称
- ⑥ 主に関西地方で生産される春菊の一種で、鍋料理に欠かせません
- ⑧ 宿泊施設でベッドが2台ある部屋は「〇〇〇ルーム」
- ⑨ 睡眠中に無意識で発する言葉のこと

【タテのカギ】

- ② 前もって知らせること
- ③ 令和6年、新しい〇〇の始まりです
- ⑤ 自然の中でテントを張り活動・宿泊します
- ⑥ 京都市の奥座敷の地名。夏は川床が人気
- ⑦ ボルトを固定する部品



応募方法

● はがき・メール 下記の7項目を記入し、ご応募ください

- ① クロスワードの答え ② 郵便番号 ③ 住所 ④ 氏名 ⑤ 年齢
- ⑥ 電話番号 ⑦ 今月号をきっかけに行動した・しようと思っていること

〒602-8570 府広報課「クイズ」係 ※宛先住所は不要です

✉ koho@pref.kyoto.lg.jp

● 応募フォーム 府のHPからアクセスしてください



← 携帯・スマホからの応募はこちらから

締め切り 1月15日(月)消印有効

- ※記入漏れ・判読不明などがある場合は無効となりますのでご注意ください
- ※個人情報賞品の発送のみに使用します
- (府から住所などを問い合わせることはありません)
- ※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます
- ※頂いたコメントを匿名で掲載させていただく場合があります
- ※先月号の答えは「テクノロジー」。11月号の応募総数は5,355通でした

答え

府立 A B C D E 園は開園100周年

京都府の人口 2,536,922人 (男:1,210,800人 女:1,326,122人) 世帯数 1,215,226世帯 (令和5年11月1日現在)

【配布】 舞鶴市: (公社) 舞鶴市SC ☎0773-64-3233

亀岡市: (公社) 亀岡市SC ☎0771-24-7423

長岡京市: (有) フィード・インフォメーション ☎075-275-4441

久御山町: (公社) 久御山町SC ☎075-633-5500

宇治田原町: 宇治田原町SC ☎0774-88-4333

木津川市: (公社) 木津川市SC ☎0774-72-6690

福知山市: (公社) 福知山市SC ☎0773-23-7677

京都市: (株) 日本情報サービス ☎075-644-9573

大山崎町: (公社) 大山崎町SC ☎075-956-7561

八幡市: (公社) 八幡市SC ☎075-983-0822

京田辺市: (公社) 京田辺市SC ☎0774-64-8822

その他: (株) 京都新聞折込サービスセンター ☎075-257-3100

綾部市: (公社) 綾部市SC ☎0773-42-9030

向日市: (公社) 向日市SC ☎075-932-3987

宇治市: 読売中央販売(株) ☎06-6315-5751

城陽市: (公社) 城陽市SC ☎0774-52-9486

精華町: (公社) 精華町SC ☎0774-98-0510

【発行】 京都府広報課 ☎075-414-4074 ☎075-414-4075 ✉ koho@pref.kyoto.lg.jp